



学校だより

温 寧 の 丘

北海道小平高等養護学校

令和 5 年 7 月 28 日

第 2 号(通算107号)

日々思うこと、そしてこれからの歩みについて

北海道小平高等養護学校教頭 荒 木 健 夫

小平高等養護学校に赴任し、2年目を迎えました。1年目は右も左も分からず、目の前のことに取り組むだけの日々。2年目を迎え、経験を活かし見通しをもって仕事に励める、いや励まなければならないと意気込んでいたものの、簡単にはいかずに1年目の繰り返しになってしまいました。そう簡単には変わらないということを日々実感しています。

生徒については、13名の新入生を迎え新たな気持ちでのスタート。職員も異動で入れ替わり、聞く側から教える側へとなりどのように進めて良いのか悩む日々です。

コロナ禍もだいぶ落ち着いてきたことで体育大会には、苫前商業高校の生徒の皆さんと一緒に競技を行ったり、地元のお祭りである鬼鹿巖島神社例大祭にも参加したりと少しずつコロナ前を取り戻してきているように感じます。これからはもっと学校の教育を通して、地元との交流や還元できることはないかを考えていかなければなりません。学校運営協議会だけでなく、多くの方々から御意見をいただき学校教育に反映できればと考えます。

そのためには、まず我々の活動をいかに地域や保護者の皆様に伝えていくのが課題となります。今年はホームページの更新に力をいれています。リニューアルされましたので是非ご覧になってください。行事などについては、即記事を掲載するようにしています。情報発信の一つとしての取り組みです。

また、いじめ問題などいじめ対策基本方針の見直しを行っています。「予防的生徒指導」と言われて数年が経ちました。「いじめゼロ」ではなく、いじめにつながる事案について日常から目を光らせ、いじめに発展しないよう、その目を摘むことが大事と考えています。「些細なこと」と見逃さず、日常から指導を行っています。

2学期は現場実習、学校祭など行事があります。毎年のことながら、次から次へとやらなければいけないことがあり、落ち着かない日々になるかもしれません。そんなときでも自分で考え、見通しをもって取り組めるよう指導を行っています。前任の校長の言葉ですが「大丈夫です。すべてうまくいっています」という言葉を辛いときに思い出し、投げ出さず、逃げ出さず立ち向かうことで周りからの支援を受け、前に進んでいけると信じています。生徒の皆さんも辛いことや苦手なことから逃げずに、正面から向き合い挑戦していくことを願います。うまくいなくても、失敗してもそれが経験となり、明日の自分につながります。一步一步成長しています。自分を信じて前に進んでいきましょう。

未筆ではございますが、日頃から本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、ありがとうございます。

Ⅰ 学期の様子

Ⅰ 学 年

Ⅰ学年主任 奈良岡 有紀

新入生 13 名が入学して 4 ヶ月が経ち、Ⅰ 学期が終わろうとしています。はじめは家から離れ、寄宿舎と学校での生活となり、不安な様子もありましたが、今では学校や寄宿舎の日課にも慣れ、日々の体力づくりや作業学習などの学習に前向きに取り組んでいる様子が見られます。また、生徒たちと接して素直でやさしいところが、この学年の良いところだと感じています。

日々の積み重ねが、3 年後の自分を作ります。就労に向けて、もっとたくさんのことを学んでいく中で、困難にくじけそうになったり、進路のことで悩んだりすることがあると思います。しかし、スモールステップでも自分と向き合い、課題を解決していくことで、必ず成長できるはずですよ。

困難を感じたときこそ、”前向きな姿勢”を継続して、小平高等養護学校の生徒として成長していくことを期待しています。

2 学期からも頑張ってもらいたいと思っています。



2 学 年

2学年主任 荻口 真理

2 年生に進級し、あっという間に夏休みとなりました。この間、第Ⅰ期現場実習や体育大会、プール学習などがありました。

5 月に行われた第Ⅰ期現場実習では、昨年とは違い、一人一人の良さや進路面談での話を基に、それぞれの場所で 4 日間、無事に行うことができました。

6 月の体育大会では、一人一人が自己ベストの更新を目指し、取り組んできました。練習では、なかなか思うような記録が出ない人もいましたが、授業の中でより良くなる走り方や投げ方のフォームなどを繰り返し練習してきました。

その結果、体育大会当日は、100 メートル走、ボール投げ、1500 メートル走または 800 メートル走の種目のうち、2 学年の生徒 8 名全員が 2 つ以上の自己ベストを更新することができました。

最後に総練習の時にある生徒が言った一言がとても印象に残ったので紹介したいと思います。

「去年は走りきれなかったけど、今年は走りきれました！」



3 学 年

3 学年主任 齊藤 崇子

5月16日から19日までの3泊4日で、関西方面に見学旅行に行きました。新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたことを受け、本校としては4年ぶりの道外への見学旅行です。

生徒には、事前学習から「見学旅行は学習」であることを伝え、「地域の伝統や文化を学ぶこと」「集団を意識して活動すること」などを目標に、準備してきました。

京都・大阪の自主研修では、はじめに全員で清水寺へ行き、本堂を見学したり、舞台からの眺めを堪能したりしました。その後、グループに分かれ、事前に調べた公共交通機関を使って、嵐山や海遊館、道頓堀など、計画した見学先を回りました。それぞれのグループで多少のハプニングはありましたが、その都度対応を考え、仲間と協力して解決し、充実した研修とすることができました。

2学期には、9月 11 日から前提実習となる現場実習があります。明日から、高校生活最後の夏休みが始まりますが、4週間の現場実習を乗り切るために、夏休み中も生活リズムを整え、積極的に体を動かし、体力と体調を整えて新学期を迎えられるよう、ご家庭でも御協力をお願いいたします。



オビリンピックをふりかえって

保健体育部主任 梶谷 美麗

数年ぶりに観覧席を設けて実施することができた、今年の体育大会。生徒たちのやる気もいつも以上にみなぎっている大会となりました。競技はもちろん、応援にも熱が入り、1学年は青色、2学年は緑色、3学年は赤色に染まりながら自分や仲間を鼓舞していました。

競技についても白熱した勝負が続き、ゴールテープ直前まで1・2位を争い、ボール投げではどんどん記録が伸び続け、最後まで結果が分からず、終始大盛り上がりの大会となりました。

コロナも落ち着き、苫前商業高校の方々との交流も、併せて行うことができました。競技の手伝いをしてくれたり、玉入れを一緒に行ったり、本校の生徒たちにとっても、よい経験ができたのではないかと思います。

結果は3位2学年、2位1学年、優勝3学年となりました。全学年全力で練習に励み、全力で本番に臨むことができたのではないかと思います。

お越し頂いた保護者の皆様、関係者の皆様、応援ありがとうございました。

